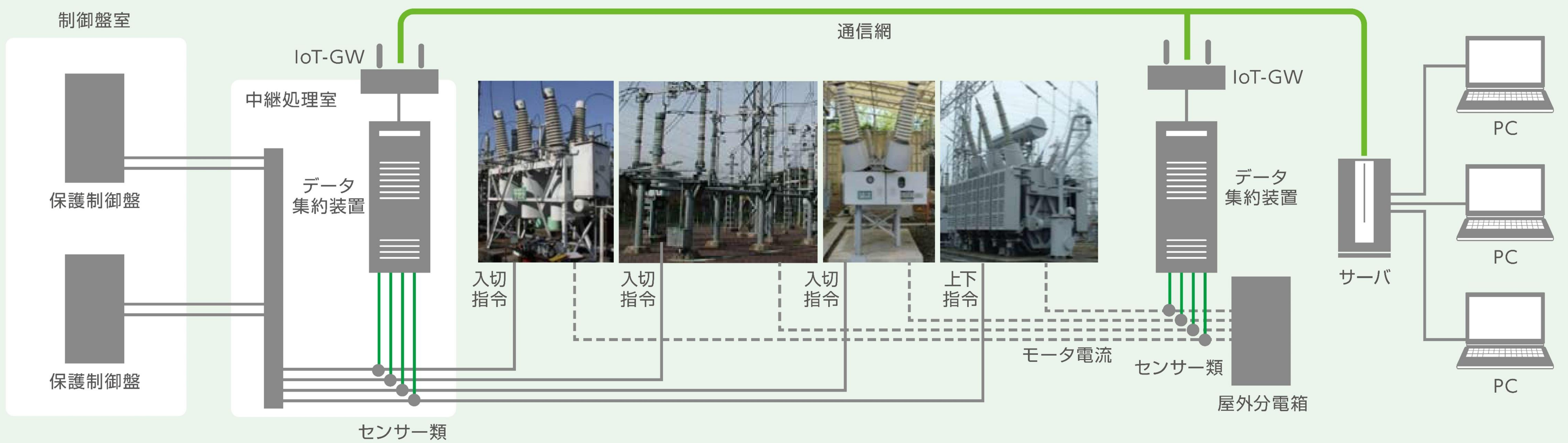
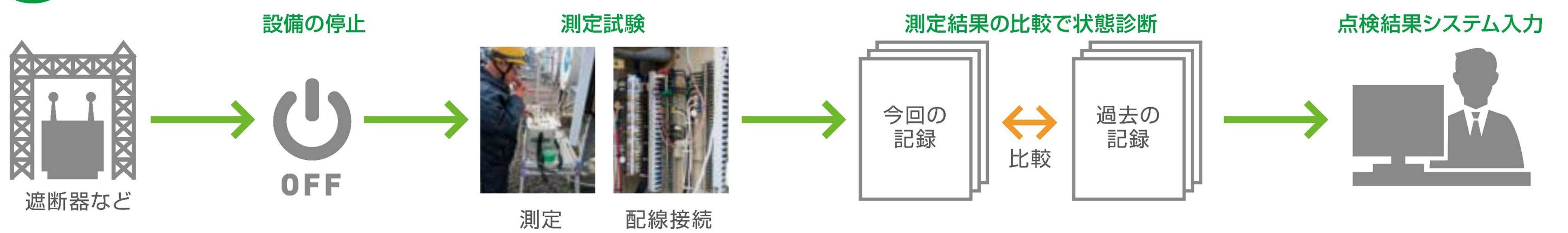


変電設備保全におけるIoT化に関する取り組み

変電機器の状態を遠隔でセンシングし メンテナンス時期を適切に判断します

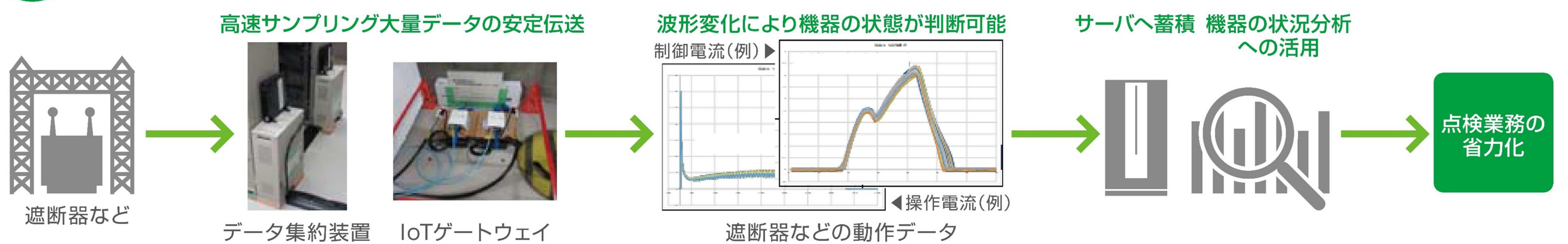


従来 設備を停止して定期点検



背景
目的

今後 制御・操作電流取得によるオンラインでの常時監視



特長

- 点検業務の省力化 → オンラインでの常時監視
- 装置の低価格化 → データ集約装置を安価な汎用品で構成
- 設置作業の省力化 → クランプ形直流電流センサ活用による設備停止無しでの設置 (既設設備のセンシングが可能)
- 高速サンプリング → 最大16ch同時に1kHzサンプリング可能

用途

- 電流波形の電流値や波形形状、動作時間などから機器の状態を把握
- 変電所に設置して、データの取得および常時監視を実施中

開発者の
ひとこと

IoT技術の活用のうち「データ取得」という第一歩を踏み出したばかりですが、次のステップとなるビッグデータ分析に関する検討も早期に進め、点検業務を時間保全基準(TBM)から状態監視保全(CBM)へ変革し、省力化を目指しています。